
【ネガティブサンタさん】

加藤アガシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【ネガティブサンタさん】

【Nコード】

N8577I

【作者名】

加藤アガシ

【あらすじ】

クリスマスだし、クリスマス向けの短編小説でもいかがですか？
引きこもりニートが活躍します。

(前書き)

読んでくださってありがとうございます。感想くださいー！メリー
クリスマスー！

『まだ今ならやり直せるから、部屋から出てきて』

母親の字でそう書かれた手紙つきの食事を食べ終わると、三太はそれを自分の部屋の外に置く。

そして、すぐに部屋を締め、カギをする。

そして、パソコンの前に向かう。

『・・・はあ』

増田三太はノート歴5年になる。

まだ今ならやり直せる。

母親は馬鹿みたいにそう繰り返す。

『やり直せるわけじゃないか・・・』

三太の一番上の兄は、父と同じ弁護士の仕事をしている。

二番目の兄は、業界で有名なイラストレーター。

『俺は一体、何をしているんだろう・・・』

三太は深夜、家族が寝静まると、枕に顔を押し付け、むせび泣く。

自分の無力さと、愚かさを呪いながら・・・。

やり直せるわけがない・・・。

三太が引きこもるようになったのは、高校2年の時のクリスマス。

当時、三太は学校でいじめられていた。

いつもひとりだった。

弁当はトイレで食べた。

しかし、そんな彼にも好きな子がいた。

もちろん、三太は自分みたいな奴が恋なんかしていいなんて思っ
てなかった。

自分なんか幸せになっていいなんて思っていなかった。

そう思っていた。

そう思っていたはずなのに！

・靴箱にあった自分あてのラブレターを信じてしまった。

舞い上がってしまった。

そして、それから三太は引きこもるようになった。

社会にいられなくなったのだ。

そんな彼をミンナは『働かないのなら死ね』と言う。

死ねと言う。

そして、三太自身も自分は死んだほうがいいと思う。

死だほうがいいと思う。

そんなある日、三太は夢を見る。

幸せな夢だ。

自分がみんなから必要とされる夢だ。

幸せ夢だ。

そして、その夢から目が覚めた三太の中で、何かはじける。

何かはじける。

『自分が幸せになれないなら、人を幸せにすればいいじゃないか！』

三太はやっと気付いた。

そして、三太は本当の意味で自分を殺すことにした。

『これは自分のための人生じゃない。人のための人生だ!!』

そして、クリスマスイブの夜。

三太は、ネット通販で買ったサンタクロースの衣装に着替る。

たくさんのセブンイレブンの袋に、ネット通販で買ったプレゼントを詰め込む。

長い間、締めていたカーテンを引き、窓を開ける。

三太は目を細める。

窓の外には、待ちくたびれた二匹のトナカイがいた。

『待たせたな!』

三太はそう言うと、5年ぶりに街へと繰り出した。

そして、髭面のサンタは、やさしい顔で笑う。

『メリークリスマス！』

今年は、サンタがやってくる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8577i/>

【ネガティブサンタさん】

2010年10月15日22時22分発行